

【調査概要】

- (1) 対象学年 小学校6年生501人、中学校3年生494人
- (2) 調査内容
 - ① 教科に関する調査 ※今年度、理科は実施なし
 - 小学校【国語、算数】 ●中学校【国語、数学、英語】
 - ② 質問紙調査（児童・生徒に対する調査、学校に対する調査）
- (3) 実施日 令和5年4月18日（火）

【今年度の特徴】

- ✦ 教科に関する調査は、国語、算数、数学に加えて、英語（中学校のみ）が4年ぶりに実施された。
- ✦ 英語「話すこと」調査についてはスピーキングも実施された。

※以下の表に「対府比」と示しているのは、大阪府の平均正答率を1とし、大阪府と比べてどれくらいできているかを表したもので、経年変化を把握しやすい。

【結果の主な特徴】

- ✦ 小中学校とも、平均正答率は、全国や大阪府より低い。
- ✦ 小中学校とも、全ての教科で「記述式問題」の正答率が低い。
- ✦ 全国で正答率が高かった問題は、本市でも高いものが多かった。
- ✦ 経年変化をみると、小学校算数の平均正答率が低下傾向にある。

学力調査結果

【平均正答率（%）】

小学校：国・算で大阪府、全国より低い

	本市	大阪府	対府比	全国
国語	60.7	66.0	0.920	67.2
算数	56.3	62.1	0.907	62.5

中学校：国・数・英で大阪府、全国より低い

	本市	大阪府	対府比	全国
国語	60.7	68.0	0.893	69.8
数学	44.0	49.9	0.882	51.0
英語	35.9	45.3	0.792	45.6

【無解答率（%）】

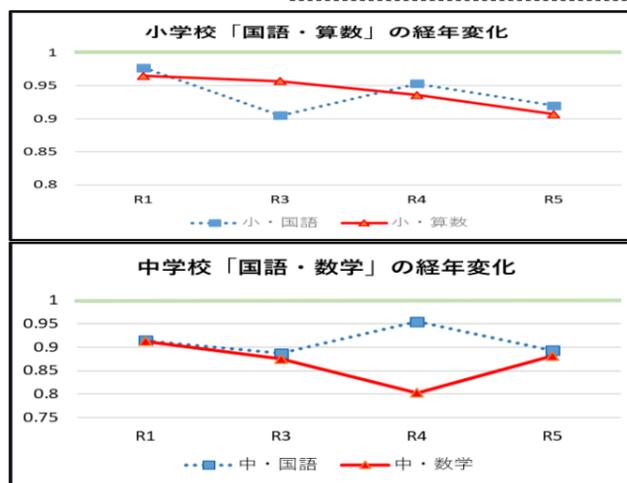
小学校：国・算で無解答がわずかに多い

	本市	大阪府	府との差	全国
国語	6.1	5.1	1.0	4.8
算数	4.5	3.5	1.0	3.4

中学校：数学で無解答が目立つ

	本市	大阪府	府との差	全国
国語	7.3	5.2	2.1	4.6
数学	14.9	11.0	3.9	9.6
英語	8.7	6.4	2.3	5.7

【対府比の経年比較】



※R2は新型コロナウイルス感染症の影響で実施されず。

各教科の状況

✦ 小学校国語

「読むことに関する事項」について、目的を意識して中心となる語や文を見つけて要約することは概ねできている（2一／88.4％／0.997）。「書くことに関する事項」について、図表やグラフなどを用いたりして自分の考えが伝わるように、書き表し方を工夫することには課題がある（1二／18.2％／0.752）。

✦ 小学校算数

「変化と関係に関する事項」について、変化の様子を表や式、折れ線グラフを用いて表したり、変化の特徴を読み取ったりすることは概ねできていた（1(1)／91.8％／0.983）。「図形に関する事項」について、三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解することに課題がある（2(3)／16.3％／0.637）。

✦ 中学校国語

「話すこと・聞くことに関する事項」について、目的や場面に応じて質問する内容を検討することは概ねできていた（1一／83.2％／0.961）。「情報の扱い方に関する事項」について、具体と抽象など情報と情報の関係について理解することには課題がある（3三／45.7％／0.765）。

✦ 中学校数学

「数と式に関する事項」について、具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすることは概ねできていた（6(1)／86.6％／0.982）。「図形に関する事項」について、基本的な平面図形の性質を見出し、平行線や角の性質を基にしてそれらを確認して証明することには課題がある（9(1)／24.2％／0.729）。

✦ 中学校英語

「聞くことに関する事項」について、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることは比較的できていた（4／49.1％／0.928）。「書くことに関する事項」について、疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことには課題がある（9(1)②／13.4％／0.563）。

✦ 小中学生とも設問にあるたくさんの情報（文章、表、グラフ、イラスト等）に慣れておらず、設問を捉えきれない状況があるのではないかと考えられる。

※上記（ ）内の数値は、（問題番号／本市正答率／対府比）を示しています。

※（ ）に挙げた問題の詳細については、別紙「具体的な問題」をご参照ください。

小学校	学習指導要領の内容	平均正答率（%）			
		本市	府比	府	全国
知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	65.6	0.924	71.0	71.2
	情報の扱い方に関する事項	58.4	0.933	62.6	63.4
思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	63.1	0.890	70.9	72.6
	書くこと	18.2	0.752	24.2	26.7
	読むこと	64.5	0.932	69.2	71.2

小学校算数	学習指導要領の領域及び評価の観点	平均正答率（%）			
		本市	府比	府	全国
領域	数と計算	60.3	0.903	66.8	67.3
	図形	43.5	0.899	48.4	48.2
	変化と関係	65.2	0.921	70.8	70.9
	データの活用	58.2	0.912	63.8	65.5
評価の観点	知識・技能	61.6	0.918	67.1	67.2
	思考・判断・表現	49.4	0.887	55.7	56.5

中学校国語	学習指導要領の内容	平均正答率（%）			
		本市	府比	府	全国
知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	61.2	0.888	68.9	67.5
	情報の扱い方に関する事項	51.4	0.834	61.6	63.4
	我が国の言語文化に関する事項	64.0	0.885	72.3	74.7
思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	76.0	0.956	79.5	82.2
	書くこと	54.0	0.871	62.1	63.2
	読むこと	54.3	0.893	60.8	63.7

中学校数学	学習指導要領の領域及び評価の観点	平均正答率（%）			
		本市	府比	府	全国
領域	数と式	58.9	0.932	63.2	63.0
	図形	25.2	0.754	33.4	33.2
	関数	41.9	0.846	49.5	51.2
	データの活用	39.7	0.882	45.0	48.5
評価の観点	知識・技能	49.5	0.898	55.1	55.7
	思考・判断・表現	32.3	0.816	39.6	41.6

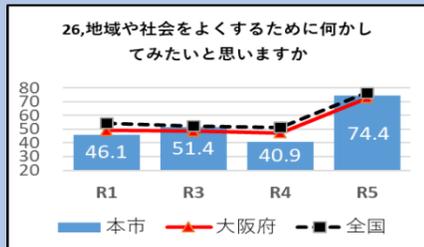
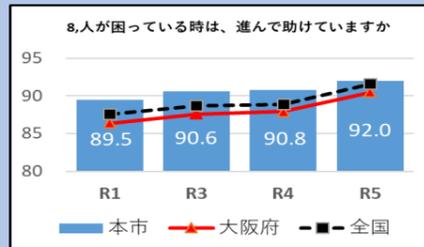
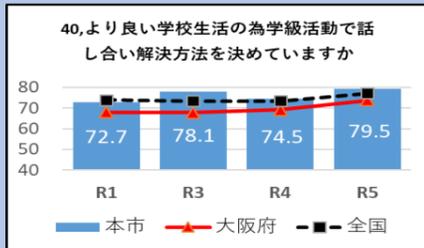
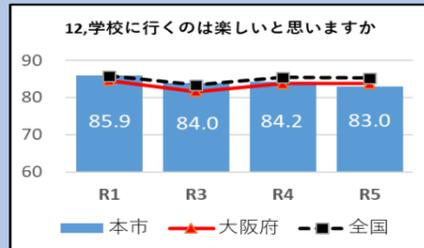
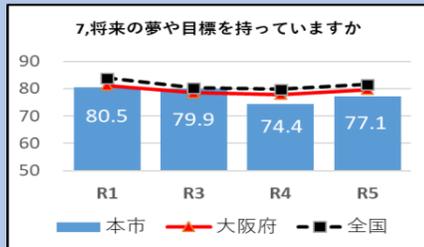
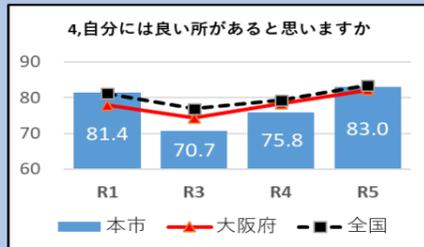
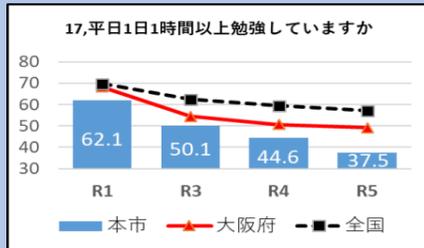
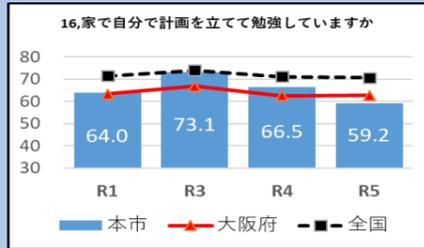
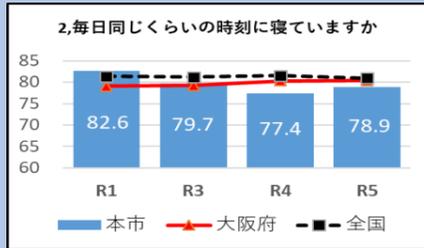
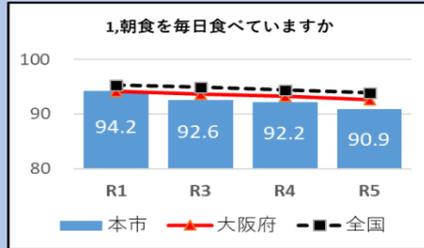
中学校英語	学習指導要領の領域及び評価の観点	平均正答率（%）			
		本市	府比	府	全国
領域	聞くこと	47.0	0.819	57.4	58.4
	読むこと	40.9	0.815	50.2	51.2
	話すこと	6.0※			12.4※
	書くこと	16.5	0.665	24.8	23.4
評価の観点	知識・技能	38.8	0.758	51.2	51.5
	思考・判断・表現	32.6	0.842	38.7	38.8

※中学校英語「話すこと」については、全国から抽出された当日実施校の結果が公表されており、平均正答率は参考結果となります。

小学6年生

※以下のグラフの割合は肯定的回答（そう思う、ややそう思うの合計）で示している。

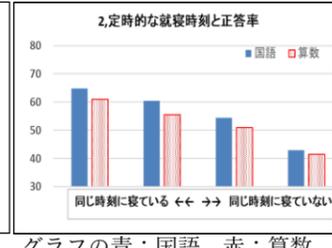
中学3年生



※R2は新型コロナウイルス感染症の影響で実施されず。

自律

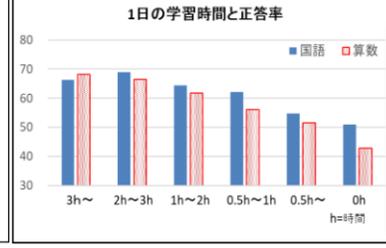
朝食を毎日食べている児童生徒は9割程度になるが、年齢が上がるにつれて減少する。就寝時刻も年齢が上がるにつれて不定期傾向になる。就寝時刻の乱れは学力とも関連していて、基本的な生活習慣の見直しが大切である。



グラフの青：国語、赤：算数

家庭学習

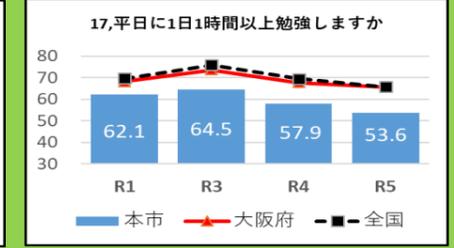
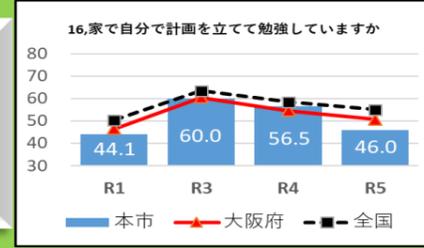
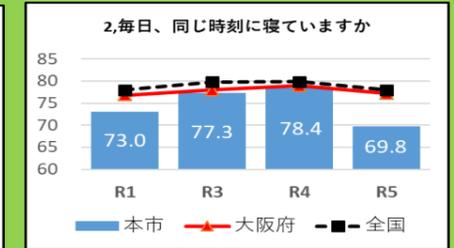
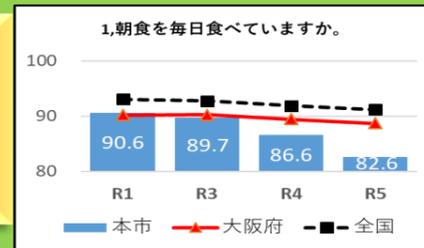
家庭学習時間は、小中学校とも全国と比べて大きな差がある。小学校で19.6ポイント、中学校で12.2ポイント下回っている。家庭学習時間と学力の相関は大きく、家庭学習時間の確保は非常に大切である。



自己肯定感

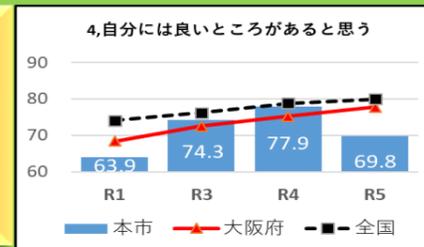
自己肯定感では、小学生は全国と同様に上昇傾向にあるが、中学生は全国より10.2ポイント低い。将来にポジティブな思いを持つ小学生は全国より4.4ポイント低い程度だが、中学生は8.2ポイント低い。残念ながら、今年度、中学生は自己肯定感、将来の夢ともに全国や大阪府より低い傾向が出た。

自律



家庭学習

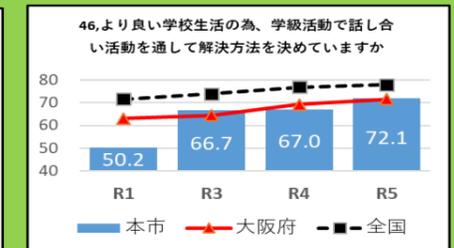
自己肯定感



学校生活

学校が楽しいという小学生は8割、中学生は7割と全国並みで、全国を超えている年もあったが、R5年度は、中学生は全国より9.3ポイント低くなっている。一方、より良い学校生活を築いていくために学級の中で子どもたちの自主性を尊重する取り組みは、上昇傾向にある。

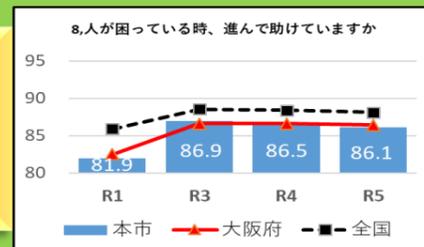
学校生活



社会貢献

困っている人を助けるという気持ちは、小学生は全国より高く、中学生は全国と同じである。「地域や社会をよくする為に」という質問は、今年度、設問の表現が変わったせいか、小中学生ともに大きく数値が伸びた。 ※R1~4は「地域や社会をよくする為に何をすべきか考えることがありますか」→R5「地域や社会をよくする為に何かしてみたいと思いますか」

社会貢献



※R2は新型コロナウイルス感染症の影響で実施されず。

顕著に肯定的回答が高かった質問項目

- 朝食を毎日食べていますか (小：91%)
- 先生はあなたの良い所を認めてくれていると思いますか (小：92%)
- 先生は授業やテストで間違えたところや、理解していない所について、分かるまで教えてくれていると思いますか (小：94%)
- 人が困っている時は、進んで助けていますか (小：92%、中86.1%)
- いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか (小：97.5%、中：93%)
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか (小：96%、中：92%)
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか (小：93%、中：87%)

学力向上に向けた提案

- 授業改善
 - 認知能力テストの結果を効果的に使った授業改善
 - 自分の考えを表出し伝え合う活動、多くの情報から必要な情報を選択する活動などを取り入れた授業の推進
- 基礎基本の定着
 - 一人ひとりの理解度に応じたAIドリルの活用
- 家庭学習時間
 - 予習・復習の充実
 - AIドリルの活用による家庭学習時間の増加



別紙 令和5年度 全国学力・学習状況調査における
成果と課題の見られた 具体的な問題

小学校の結果概要【国語】

【成果の見られた設問】

2一（本市正答率 88.4% 大阪府正答率 88.7% 対府比 0.997）

（趣旨）目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができるかどうかをみる。

2一 相田さんが選んだ【資料1】と【資料2】に書かれている内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1. 運動の効果や種類
- 2. 運動の回数や場所
- 3. 運動の場所や種類
- 4. 運動の効果や回数

【本市児童の解答状況】

【資料2】運動について書かれたパンフレットのページ

運動で健康な体をつくろう！

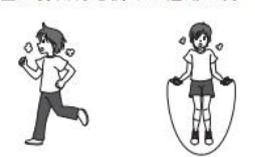
運動には、筋力や持久力などを高めるほかに、病気への抵抗力を高める効果もあります。また、運動によって気持ちがりフレッシュするなどの効果もあります。

どんな運動をするといいの？

運動をする際、自分に合った運動を選んで行うことが大切です。主な運動の種類には、下のように、軽いジョギングなどの持久力を高める運動や、腹筋運動などの筋力を高める運動があります。そのほかにも、体の柔らかさを高める運動や、たくみな動きを高める運動などがあります。

このような運動は日常生活の中にもあります。例えば、休み時間の外遊び、犬の散歩、階段の上り下り、荷物運びなどです。日常生活の中で体を動かす機会をつくと効果的です。

主に持久力を高める運動の例



軽いジョギング 縄とび(続けてとぶ)

主に筋力を高める運動の例



腹筋運動 腕立てふせ

【資料1】運動について書かれた本の一部

運動は、体力の向上につながります。そのため、子供からお年寄りまで適度に運動をすることが大切だと言われています。

私たちが日ごろ行っている運動には、いくつかの種類があります。例えば、体にたくさん酸素を取り入れながら続けることで持久力を高める運動や、瞬間的に大きな力を出すことで筋肉の力を高める運動などです。

生活の中に自分が好きな運動を取り入れれば、続けて取り組むことができます。その際は、目的に応じた運動を選ぶとともに、健康状態や体力に合わせて自分のペースで行うことが大切です。

2

相田さんの学級では、健康に過ごすために、複数の文章を選んで読み、自分ができそうなことを考えてまとめることにしました。次は、「相田さんの考え」と、相田さんが知りたいことを調べるために選んだ【資料1】、【資料2】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【相田さんの考え】

ぼくは、運動の面から考えてみたい。運動をすると健康にどんないいことがあるのかな。



相田さん

問題番号	問題の概要	解答類型										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9.9	無解答	
2-1	【資料1】と【資料2】に書かれている内容として適切なものを選択する	88.4	2.8	2.4	4.8						0.4	1.2
		88.7	1.8	3.0	5.1						0.1	1.4
		90.0	1.4	2.7	4.5						0.1	1.2
1	◎	1 と解答しているもの										
2		2 と解答しているもの										
3		3 と解答しているもの										
4		4 と解答しているもの										
9.9		上記以外の解答										
0		無解答										

■解答類型について

- 要約するためには、目的を意識して、内容の中心となる語や文を選ぶことが大切である。相田さんは、運動の面から健康について考えるために、【資料1】や【資料2】から中心となる語や文を見付けようとしている。ここでは、【資料1】と【資料2】には、運動の効果や種類が書かれていることを捉えることが求められる。
- 【解答類型1】は、運動の効果が書かれていることと、種類が書かれていることを捉えることができていると考えられる。
- 【解答類型2】は、運動の効果が書かれていることも、種類が書かれていることも捉えることができていると考えられる。
- 【解答類型3】は、運動の種類が書かれていることを捉えることはできているが、効果について書かれていることを捉えることができていると考えられる。
- 【解答類型4】は、運動の効果が書かれていることを捉えることはできているが、種類について書かれていることを捉えることができていると考えられる。

【課題の見られた設問】

I 二（本市正答率 18.2% 大阪府正答率 24.2% 対府比 0.752）

（趣旨）図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。

「川村さんは、選んだカードをもとに、次の【川村さんの文章】の に学校のコメ作りの問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、 に入る内容をどのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

<条件>

- 学校のコメ作りの問題点については、【川村さんの文章】のグラフ（農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量）と【カード④】のそれぞれから分かることを書くこと
- 問題点の解決方法については、【カード⑤】をもとにして書くこと。
- 60字以上、100字以内にまとめて書くこと。

【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしゅうかくすることができました。しゅうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、ア いがいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼとイ くらべてみました。ウ きかんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。

このようなことに取り組み、9月の下旬にお米をしゅうかくすることができました。

二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【川村さんの文章】の [] に学校の米作りの [] に入る内容を [] に入れる内容を [] に記入してください。

【カード①】

6月24日

- 思ったより学校の田んぼに雑草が生えてきた。
- このまま雑草が増えたら米のしゅうかくにえいしょうするのではないかと心配だ。

【カード②】

6月30日

- 雑草取りをしているが、農家の田んぼには見られないほど、雑草の量が増えてきた。どれくらい増えているのか雑草の量を調べる。
- 調査方法 週に1回、農家の田んぼと学校の田んぼの雑草を取って、量をくらべる。
- 調査きかん 7月1日～15日

【カード③】

7月19日

- 学校の田んぼでは、雑草の量に対して雑草取りが遠いついていないと考えられる。
- 雑草の量と米のしゅうかくの関係について農家の石山さんに話を聞きに行く。

【カード④】

7月20日

[農家の石山さんのお話]

- 雑草に栄養をとられると、米のしゅうかくが減る。
- 雑草が多いと、いねが病気になることがある。
- 農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

【カード⑤】

7月21日

[学校でできる解決方法]

- 雑草取りの回数を増やす。
- 雑草取りの人数を増やす。

【川村さんの考え】

雑草が増える問題が起きたけれど解決してよかったな。米作りのときに記録していたカードの中から選んだカードをもとに、米作りに興味のある人に向けて、問題点とその解決方法を書こう。

1 川村さんは、学校の田んぼで取り組んだ米作りについて文章を書こうとしています。次は、「川村さんの考え」と川村さんが選んだ「カード①」から「カード⑤」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

川村さん

【本市児童の解答状況】

問題番号	問題の概要	解答類型									
		1	2	3	4	5	6	7	8	99	無解答
1 二	【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く	18.2	0.0	4.8	18.2	14.8	10.2	4.4	9.2	11.6	8.8
		24.2	0.0	2.9	17.8	20.0	8.3	2.8	8.2	8.3	7.6
		26.7	0.0	3.0	18.3	19.1	7.8	2.5	7.7	7.8	7.1

解答類型

問題番号	解答類型	正答
1 二	<p>(正答の条件)</p> <p>次の条件を満たして解答している。</p> <p>① 学校の米作りの問題点について、以下のことを書いている。</p> <p>a 【川村さんの文章】のグラフから分かること</p> <p>b 【カード④】から分かること</p> <p>② 問題点の解決方法について、【カード⑤】をもとにして書いている。</p> <p>③ 60字以上、100字以内で書いている。</p> <p>(正答例)</p> <ul style="list-style-type: none"> グラフから分かるように、学校の田んぼでは雑草が増え続けていたため、雑草に栄養をとられてしゅうかくが減ってしまうかもしれないという問題点がありました。そこで、雑草取りの回数と人数を増やすことにしました。(100字) 	◎
1	条件①a、bの両方と、条件②、③を満たしているもの	◎
2	条件①a、bの両方と、条件②は満たしているが、条件③は満たしていないもの	
3	条件①a、bの両方は満たしているが、条件②は満たしていないもの	
4	条件③を満たしているかどうかは不問とする。	
4	条件①a、②は満たしているが、条件①bは満たしていないもの	
5	*条件③を満たしているかどうかは不問とする。	
5	条件①b、②は満たしているが、条件①aは満たしていないもの	
6	*条件③を満たしているかどうかは不問とする。	
6	条件①aは満たしているが、条件①b、②は満たしていないもの	
7	*条件③を満たしているかどうかは不問とする。	
7	条件①bは満たしているが、条件①a、②は満たしていないもの	
8	*条件③を満たしているかどうかは不問とする。	
8	条件②は満たしているが、条件①a、bは共に満たしていないもの	
99	上記以外の解答	
0	無解答	

■解答類型について

- 自分の考えが伝わるように文章を書くには、図表やグラフなどを用いるなどして書き表し方を工夫することが大切である。川村さんは、選んだカードや自分で作成したグラフを用いて、米作りの問題点と解決方法について文章を書いている。ここでは、【川村さんの文章】のグラフと【カード④】のそれぞれから分かる学校の米作りの問題点と、【カード⑤】を基にした問題点の解決方法を、60字以上、100字以内で書くことが求められる。
- 【解答類型1】は、【川村さんの文章】のグラフと【カード④】のそれぞれから分かる学校の米作りの問題点と、【カード⑤】を基にした問題点の解決方法を、60字以上、100字以内で書いている。
- 【解答類型2】は、【川村さんの文章】のグラフと【カード④】のそれぞれから分かる学校の米作りの問題点と、【カード⑤】を基にした問題点の解決方法を書いている。しかし、60字以上、100字以内で書いていない。
- 【解答類型3】は、【川村さんの文章】のグラフと【カード④】のそれぞれから分かる学校の米作りの問題点を書いている。しかし、【カード⑤】を基にした問題点の解決方法を書いていない。

(例)

- ・ グラフから分かるように、学校の田んぼは農家の田んぼより雑草が多いため、いねが病気になり、米のしゅうかくが減るかもしれないという問題点がありました。(73字)

- 【解答類型4】は、【川村さんの文章】のグラフから分かる学校の米作りの問題点と、【カード⑤】を基にした問題点の解決方法を書いている。しかし、【カード④】から分かる学校の米作りの問題点は書いていない。

(例)

- ・ 学校の田んぼは、農家の田んぼに比べて雑草が多く、しかも増え続けるという問題点がありました。そこで、雑草取りの回数を増やしたり人数を増やしたりすることにしました。(80字)

- 【解答類型5】は、【カード④】から分かる学校の米作りの問題点と、【カード⑤】を基にした問題点の解決方法を書いている。しかし、【川村さんの文章】のグラフから分かる学校の米作りの問題点は書いていない。

(例)

- ・ 学校の米作りの問題点は、雑草に栄養をとられてしゅうかくが減ってしまうかもしれないということです。そこで、雑草取りの回数も人数も増やすことにしました。(74字)

- 【解答類型6】は、【川村さんの文章】のグラフから分かる学校の米作りの問題点を書いている。しかし、【カード④】から分かる学校の米作りの問題点と、【カード⑤】を基にした問題点の解決方法は書いていない。

(例)

- ・ 7月15日では学校の田んぼの雑草の量は、農家の田んぼの雑草の量の4倍です。このように学校の雑草の量が農家に比べて多いという問題点がありました。そこで、雑草を取ることにしました。(88字)

- 【解答類型7】は、【カード④】から分かる学校の米作りの問題点を書いている。しかし、【川村さんの文章】のグラフから分かる学校の米作りの問題点と、【カード⑤】を基にした問題点の解決方法は書いていない。

(例)

- ・ 学校の米作りの問題点は、雑草が多くて、いねが病気になるかもしれないことでした。そこで、これまでどおり雑草を取ることにしました。(63字)

- 【解答類型8】は、【カード⑤】を基にした問題点の解決方法を書いている。しかし、【川村さんの文章】のグラフと【カード④】のそれぞれから分かる学校の米作りの問題点を書いていない。

(例)

- ・ わたしたちは、学校の米作りの問題点を解決するために、雑草を取る回数を増やし、さらに雑草を取る人数も増やすことにしました。(60字)

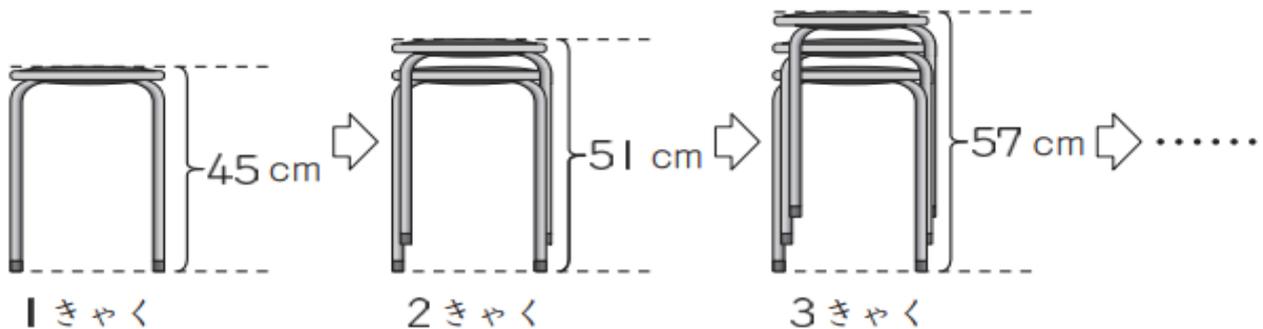
小学校の結果概要【算数】

【成果の見られた設問】

1 (1) (本市正答率 91.8% 大阪府正答率 93.4% 対府比 0.983)

(趣旨) 伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができるかどうかをみる

同じいすがたくさんあります。はるまさんたちは、いすをかたづけのために、下のよう重ねています。1 きゃくのいすの高さは、45 cm です。下のよういすを重ねていくと高さが変わります。いすの数と高さの関係を、下の表にまとめます。表の中の A にあてはまる数を書きましょう。



いすの数と高さの関係を、下の表にまとめます。

いすの数 (きゃく)	1	2	3	4	5
高さ (cm)	45	51	57	63	A

【本市児童の解答状況】

※太字かつ下線付きの箇所は正答を表す。

1段目：教育委員会の児童数の割合(%) 2段目：都道府県(公立)の児童数の割合(%)
3段目：全国(公立)の児童数の割合(%)

問題番号	問題の概要	解答類型										
		1	2	3	4	5	6	7	8	99	無解答	
1 (1)	5脚の椅子を重ねたときの高さを求める	91.8	0.4	0.0	0.6	0.2					5.6	1.4
		93.4	0.6	0.0	0.2	0.3					4.5	1.0
		93.5	0.6	0.0	0.2	0.3					4.5	0.8

1	◎	6.9	と解答しているもの
2		6.8	と解答しているもの
3		6.4	と解答しているもの
4		6.7	と解答しているもの
5		2.25	と解答しているもの
99			上記以外の解答
0			無解答

- 【解答類型1】は、椅子の数が1脚ずつ増えると、高さが6cmずつ高くなるという規則性を見付け、4脚のときの高さを基に5脚のときの高さを求めることができている。
- 【解答類型2】は、椅子の数と高さの規則性を見付けることができず、椅子の数が4脚のときの高さ63cmに、椅子の数5脚を足していると考えられる。
- 【解答類型3】は、椅子の数と高さの規則性を見付けることができず、椅子の数が4脚のときの高さ63cmに、増えた椅子の数1脚を足していると考えられる。
- 【解答類型4】は、椅子の数と高さの規則性を見付けることができず、椅子の数が4脚のときの高さ63cmに、そのときの椅子の数4脚を足していると考えられる。
- 【解答類型5】は、椅子の数と高さが比例の関係にあると誤って捉え、椅子の数が1脚から5脚と5倍になっていることから、1脚のときの高さ45cmを5倍したと考えられる。

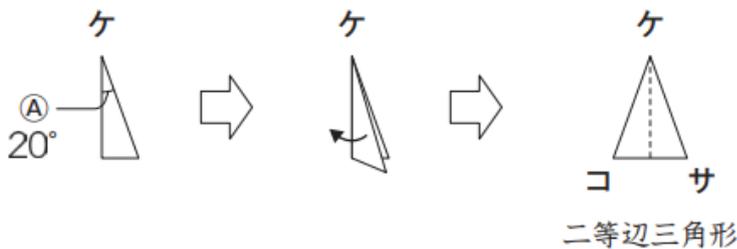
【課題の見られた設問】

2 (3) (本市正答率 16.3% 大阪府正答率 25.6% 対府比 0.637)

(趣旨) 正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる。



わたし
ゆいな
私は、①の角の大きさを 20° にしました。切って開いた三角形ケコサは、二等辺三角形になりました。



わたし
わたる
私は、切って開いた三角形を正三角形にするために、①の角の大きさをゆいなさんとちがう大きさにして切りました。

切って開いた三角形を正三角形にするには、①の角の大きさを何度にする
ればよいですか。

答えを書きましょう。

【本市児童の解答状況】

問題番号	問題の概要	解答類型									
		1	2	3	4	5	6	7	8	99	無解答
2 (3)	切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切る ときのAの角の大きさを書く	16.3	31.7	0.0	0.4	9.8	8.4	3.8	14.7	9.2	5.8
		25.6	33.0	0.2	0.8	7.5	4.9	3.3	13.3	7.7	3.8
		24.9	33.3	0.2	0.9	7.8	4.8	3.1	13.6	7.3	3.7
1	◎	30	と解答しているもの								
2		60	と解答しているもの								
3		15	と解答しているもの								
4		120	と解答しているもの								
5		45	と解答しているもの								
6		90	と解答しているもの								
7		20	と解答しているもの								
8		40	と解答しているもの								
99		上記以外の解答									
0		無解答									

■解答類型について

- 図形の観察や構成などの活動を通して、図形の性質について考察し、示された図形の角の大きさを求めることができるようにすることが大切である。
本設問では、正三角形の意味や性質について理解しているかどうかを問うている。ここでは、Ⓐの角の大きさを求めるために、テープを切って開いてできた三角形について、正三角形は一つの角の大きさが 60° であることや、示された操作から、正三角形をつくるためにⒶの角の大きさが 60° の半分になると捉えることが必要である。
- 【解答類型1】は、正三角形は一つの角の大きさが 60° であることや正三角形をつくるためにⒶの角の大きさが 60° の半分になることを捉えることができている。
- 【解答類型2】は、正三角形の一つの角の大きさが 60° になることは理解しているが、テープを切って開いたことに着目できておらず、示された操作によってできる三角形の求める角の大きさが 60° になると捉えていると考えられる。
- 【解答類型3】は、テープを切って開いたことから、Ⓐの角の大きさが 60° の半分のさらに半分の 15° になると捉えていると考えられる。
- 【解答類型4】は、テープを切って開いたことから、Ⓐの角の大きさが 60° の2倍の 120° になると捉えていると考えられる。
- 【解答類型5】は、テープを切るときに直角を半分にしたと考えたり、正三角形を直角三角形、又は直角二等辺三角形と誤って捉えたりしていると考えられる。
- 【解答類型6】は、テープを切って開いたことに着目できておらず、正三角形を直角三角形、又は直角二等辺三角形と誤って捉え、Ⓐの角の大きさについて 90° と解答していると考えられる。
- 【解答類型7】は、Ⓐの角の大きさは変わらないと捉え、Ⓐの角の大きさを 20° にして二等辺三角形をつくるときと同じように、正三角形をつくるときにもⒶの角の大きさについて 20° と解答していると考えられる。
- 【解答類型8】は、Ⓐの角の大きさは変わらないと捉え、Ⓐの角の大きさを 20° にして二等辺三角形をつくるときと同じように、正三角形をつくるときにもⒶの角の大きさについて 20° の2倍の 40° と解答していると考えられる。

中学校の結果概要【国語】

【成果のみられた設問】

1ー (本市正答率 83.2% 大阪府正答率 86.6% 対府比 0.961)

(趣旨) 目的や場面に応じて質問する内容を検討することができるかどうかをみる。

一 南さんの【インタビューの前に準備したメモ】について説明したのとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1. インタビューの目的に沿った質問をするために、知りたいことを整理している。
2. 質問の内容を相手に明確に伝えるために、言葉遣いや話し方を確認している。
3. 見通しをもって話を進めるために、質問に対する相手の答えを予想している。
4. 話題を広げるために、インタビューの目的とは異なる質問を用意している。

〈インタビューの目的〉
星野さんの製品開発に対する思いを聞き、自分の考えの参考にする。

〈インタビューを通して知りたいこと〉
・「安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたい」と考えるのはどうしてか。
・「安全性を保ちつつ、デザイン性や利便性も兼ね備えた製品を開発するのは難しい」とあるが、具体的にどのような難しさがあるのか。
・社会で働く上で何が大切だと思うか。

「インタビューの前に準備したメモ」

【本市生徒の回答状況】

※太字かつ下線付きの箇所の類型が、正答を表す。

1段目：教育委員会の生徒数の割合(%) 2段目：都道府県(公立)の生徒数の割合(%)
3段目：全国(公立)の生徒数の割合(%)

問題番号	問題の概要	解答類型										
		1	2	3	4	5	6	7	8	99	無解答	
1ー	インタビューの前に準備したメモについて説明したのとして適切なものを選択する	83.2	5.9	4.9	5.7					0.2	0.2	
		86.6	4.5	2.7	8.0					0.1	0.1	
		87.5	3.7	2.5	8.2					0.0	0.1	
1	◎	1 と解答しているもの										
2		2 と解答しているもの										
3		3 と解答しているもの										
4		4 と解答しているもの										
99		上記以外の解答										
0		無解答										

■解答類型について

- 【解答類型1】は、目的や場面に応じて質問する内容を検討することができる。【インタビューの前に準備したメモ】が、星野さんの製品開発に対する思いを聞き、自分の考えの参考にするために、インタビューを通して知りたいことを検討して整理したものであることを捉えている。
- 【解答類型2～4】は、目的や場面に応じて質問する内容を検討することに課題がある。
 - ・ 【解答類型2】は、南さんが【インタビューの前に準備したメモ】を作成した意図が理解できず、言葉遣いや話し方を確認していると誤って捉えたものと考えられる。

- ・【解答類型3】は、南さんが【インタビューの前に準備したメモ】を作成した意図が理解できず、質問に対する相手の答えを予想していると誤って捉えたものと考えられる。
- ・【解答類型4】は、南さんが【インタビューの前に準備したメモ】を作成した意図が理解できず、インタビューの目的とは異なる質問を用意していると誤って捉えたものと考えられる。

【課題のみられた設問】

3三（泉南市正答率 45.7% 大阪府正答率 59.7% 対府比 0.765）

（趣旨）読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる。

三 山田さんは、「■『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた文章を内容のまとまりで二つに分け、後半のまとまりには分けた内容と合う見出しを付けることにしました。分ける箇所として最も適切なものを、（ア）から（オ）までの中から一つ選びなさい。また、後半のまとまりに付ける見出しを考えて書きなさい。

3. 調査結果

■「判じ絵」とは何か

「判じ絵」とは、描かれている絵や記号などが何を意味しているかを解読して楽しむものである。

（ア）ただし、【図1】のように、描かれているもの【図1】ザルと意味しているものが異なるため、解読する際には、「判じる」こと、つまり、知っていることをもとに「おし量って考える」が必要になる。（イ）言ってみれば、なぞなぞやクイズのようなものである。（ウ）また、「判じ絵」の起源を調べたところ、平安時代後期から行われていた「ことば遊び」だと考えられていることが分かった。（エ）そして、江戸時代に庶民の間に広まる中で様々なものが生まれ、浮世絵ともつながりの深い文化として定着していったという。（オ）さらに明治に時代が移っても、人々の娯楽として親しまれ、現代でも雑誌の挿絵やテレビのクイズ番組などで見ることができる。

【本市生徒の回答状況】

問題番号	問題の概要	解答類型										
		1	2	3	4	5	6	7	8	99	無解答	
3三	「『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた部分について、内容のまとまりで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のまとまりに付ける見出しを書く	45.7	18.2	5.1							26.9	4.0
		59.7	12.6	5.4							20.0	2.3
		61.8	11.4	5.9							13.3	2.1

（正答の条件）		
次の条件を満たして解答している。		
① 内容のまとまりに分ける箇所として（ウ）を選んでいる。		
② 後半のまとまりに付ける見出しを、「『判じ絵』の歴史」、「『判じ絵』の起源と広がり」のように解答している。		
1	◎	条件①、②を満たして解答しているもの
2		条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの
3		条件②を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの
99		上記以外の解答
0		無解答

■解答類型について

- 【解答類型1】は、情報と情報との関係の一つである、具体と抽象の関係について理解することができている。「■『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた文章の（ウ）以降が、「『判じ絵』がいつ生まれ、どのように現代に伝わったのか」について具体的に説明していることを捉え、その内容に合う見出しを書くことができている。
- 【解答類型2、3】は、情報と情報との関係の一つである、具体と抽象の関係について理解することに課題がある。

- 【解答類型2】は、「■『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた文章を内容のまとまりで二つに分けることはできているが、(ウ)以降の内容に合う見出しを書くことができていない。具体的な例としては、以下のようなものが考えられる。

(例) (分ける箇所) ウ、(見出し) 平安時代の「判じ絵」 (分ける箇所) ウ、(見出し) 「判じ絵」の解説
--

- 【解答類型3】は、「■『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた文章の後半の内容に合う見出しを書くことはできているが、内容のまとまりで二つに分けることができていない。

中学校の結果概要【数学】

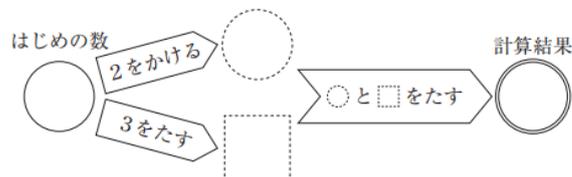
【成果のみられた設問】

6 (1) (本市正答率 86.6% 大阪府正答率 88.2% 対府比 0.982)

(趣旨) 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる。

次の図1のように、はじめの数として○に整数を入れて計算し、計算結果を求めます。

図1



(1) はじめの数が11のとき、計算結果を求めなさい。

【本市生徒の解答状況】

問題番号	問題の概要	解答類型										
		1	2	3	4	5	6	7	8	99	無解答	
6 (1)	はじめの数が11のとき、はじめの数にかける数が2、たす数が3のときの計算結果を求める	86.6	0.0								8.8	4.7
		88.2	0.1								8.4	3.3
		88.9	0.1								8.6	2.4
1	◎	36 と解答しているもの										
2		11 と解答しているもの										
99		上記以外の解答										
0		無解答										

■解答類型について

- 【解答類型1】は、はじめの数を11として、計算結果を求めることができている。
- 【解答類型2】は、問題場面の中で与えられているはじめの数である11を解答しているものと考えられる。

【課題のみられた設問】

9 (1) (本市正答率 24.2% 大阪府正答率 33.2% 対府比 0.729)

9 次の図1のように、 $CA=CB$ の二等辺三角形 ABC と $\triangle ABC \cong \triangle DEF$ となるような $\triangle DEF$ の2つの三角形を厚紙で作ります。

図1

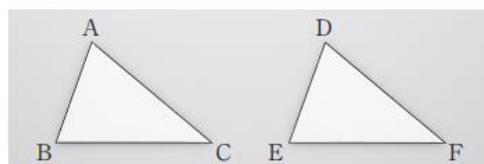
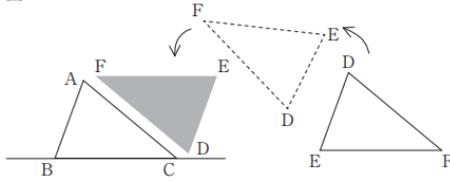


図1の2つの三角形の厚紙を使って、次の方法1と方法2でそれぞれ2つの直線をひきます。

方法1

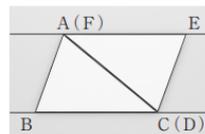
① △ABCを置いて、直線BCをひく。そして、図2のように、△DEFを回して、点Fを点Aに、点Dを点Cに重ねる。

図2



② 図3のように、点Aと点Fが重なった点をAとして、直線AEをひく。また、点Cと点Dが重なった点をCとする。

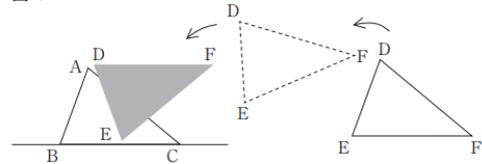
図3



方法2

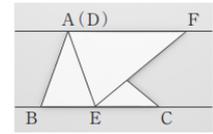
① △ABCを置いて、直線BCをひく。そして、図4のように、△DEFを回して、点Dを点Aに、点Eを直線BC上に置く。ただし、点Eは点Bと重ならないように置く。

図4



② 図5のように、点Aと点Dが重なった点をAとして、直線AFをひく。

図5



優奈さんは、方法1の直線BCと直線AE、方法2の直線BCと直線AFがそれぞれ平行になるのではないかと考え、調べることにしました。

(1) 優奈さんは、前ページの方法1の直線BCと直線AEが平行になるかどうかを調べるために、右の図6をかきました。図6のABCとCEAは、それぞれCA=CB、AC=AEで、ABC ≡ CEAです。

図6において、BC // AEであることは、すでにわかっているABC ≡ CEAをもとにして、同位角または錯角が等しいことを示すことで証明できます。BC // AEであることを証明しなさい。

【本市生徒の解答状況】

問題番号	問題の概要	解答類型									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
9(1)	2つの直線BCと直線AEが平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する	13.2	7.7	2.6	0.6	2.6	1.2	0.6	19.6	6.1	
		20.0	10.2	1.7	1.2	2.9	1.6	0.5	18.9	5.5	
		19.0	10.1	1.7	1.3	3.3	1.9	0.6	19.6	5.6	
		11	12	13	14	15	16	17	18	99	無解答
											13.4

(正答の条件)
 次の(a)、(b)とそれぞれの根拠を記述し、証明しているもの。
 なお、ここで根拠として求める記述は、正答例に記載されている程度のもとする。
 (a) $\angle BCA = \angle EAC$
 (b) $BC \parallel AE$

1	◎	(a)、(b)とそれぞれの根拠について記述しているもの
2	○	(a)、(b)について記述しているが、表現が十分でないもの((a)、(b)の根拠が抜けていたり、根拠の表現が十分でなかったりするものを含む)
3	◎	上記1、2以外で、 $BC \parallel AE$ になる理由を正しく証明しているもの
4	○	上記3について、表現が十分でないもの(根拠が抜けていたり、根拠の表現が十分でなかったりするものを含む)
5		(a)、(b)について記述しているが、証明に誤りを含んでいるもの
6		(a)のみを記述しているもの((a)について、表現が十分でなかったり、根拠が抜けていたり、根拠の表現が十分でなかったりするものを含む)
7		上記8について、証明に誤りを含んでいるもの
8		(b)のみを記述しているもの((b)について、表現が十分でなかったり、根拠が抜けていたり、根拠の表現が十分でなかったりするものを含む)
9		上記8について、証明に誤りを含んでいるもの
9.9		上記以外の解答
0		無解答

■解答類型について

本設問では、図形についての考察場面において、ある事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明することを求めている。(p. 7 参照)

説明する際には、「 $\angle BCA = \angle EAC$ 」の根拠として、「 $\triangle ABC \equiv \triangle CEA$ より、合同な図形の対応する角は等しい」を、「 $BC \parallel AE$ 」の根拠として「錯角が等しい」を記述する必要がある。

- 【解答類型1】は、「 $\angle BCA = \angle EAC$ 」の根拠として、「 $\triangle ABC \equiv \triangle CEA$ より、合同な図形の対応する角は等しい」を、「 $BC \parallel AE$ 」の根拠として「錯角が等しい」を記述している。
- 【解答類型2】は、「 $\angle BCA = \angle EAC$ 」の根拠として、「 $\triangle ABC \equiv \triangle CEA$ より、合同な図形の対応する角は等しい」を、「 $BC \parallel AE$ 」の根拠として「錯角が等しい」を記述しているが、記述の表現が十分でない。
- 【解答類型3】は、上記1、2以外で、 $BC \parallel AE$ になる理由を記述している。
- 【解答類型4】は、上記3について、記述の表現が十分でない。
- 【解答類型5】は、「 $\angle BCA = \angle EAC$ 」であることと、「 $BC \parallel AE$ 」であることを記述しているが、成り立たないことや証明していないことを用いたり、誤った根拠を記述したりしている。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- ・ 同位角が等しいから、 $\angle BCA = \angle EAC$
よって、 $BC \parallel AE$
- ・ $\angle BCA = \angle EAC$
四角形 $ABCE$ は平行四辺形だから、 $BC \parallel AE$

- 【解答類型6】は、「 $\angle BCA = \angle EAC$ 」について記述している。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- ・ $\triangle ABC \equiv \triangle CEA$ より、合同な図形の対応する角は等しいから
 $\angle BCA = \angle EAC$

- 【解答類型7】は、「 $\angle BCA = \angle EAC$ 」について記述しているが、成り立たないことや証明していないことを用いたり、誤った根拠を記述したりしている。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- ・ 同位角が等しいから、 $\angle BCA = \angle EAC$

- 【解答類型8】は、「 $BC \parallel AE$ 」について記述している。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- ・ 錯角が等しいから、 $BC \parallel AE$

- 【解答類型9】は、「 $BC \parallel AE$ 」について記述しているが、成り立たないことや証明していないことを用いたり、誤った根拠を記述したりしている。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- ・ 四角形 $ABCE$ は平行四辺形だから、 $BC \parallel AE$

中学校の結果概要【英語】

【成果のみられた設問】

4 (放送問題) (本市正答率 49.1% 大阪府正答率 52.9% 対府比 0.928)

(趣旨) 社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるかどうかをみる。

あなたのクラスは、シンガポールにある姉妹校の生徒たちと、オンラインで地域の課題について意見交換をしています。これから、姉妹校の生徒であるジェニーの話の聞くところです。ジェニーが最も伝えたいことを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 There isn't enough water in Singapore.
- 2 Doing something to save water is important.
- 3 I take showers for only five minutes each time.
- 4 One of my friends uses rain water for the plants in his room.

【本市生徒の解答状況】

問題番号	問題の概要	解答類型										
		1	2	3	4	5	6	7	8	99	無解答	
4	水問題についての話を聞き、話し手の最も伝えたい内容を選択する	13.0	49.1	16.5	20.2						0.0	1.2
		14.6	52.9	13.2	18.9						0.0	0.5
		14.5	54.8	12.7	17.5						0.0	0.4

1		1 と解答しているもの
2	◎	2 と解答しているもの
3		3 と解答しているもの
4		4 と解答しているもの
99		上記以外の解答
0		無解答

■解答類型について

- 【解答類型1】は、水問題について姉妹校の生徒の話の聞き、話の主題である地域の課題について述べている There isn't enough water in Singapore. が話し手の最も伝えたいことであると判断している。このことから、短い説明の要点を捉えることができていると考えられる。
- 【解答類型2】は、水問題について姉妹校の生徒の話の聞き、姉妹校の生徒たちの考えについて述べている (We cannot do something big, but) doing something to save water is important (for even junior high school students.) が話し手の最も伝えたいことであると判断している。このことから、短い説明の要点を捉えることができていると考えられる。
- 【解答類型3、4】は、水問題について姉妹校の生徒の話の聞き、具体的な取組について述べている (For example,) I take showers for only five minutes each time. や One of my friends uses rain water for the plants in his room. が話し手の最も伝えたいことであると判断している。このことから、短い説明の要点を捉えることができていると考えられる。

【課題のみられた設問】

9 (1) ② (本市正答率 13.4% 大阪府正答率 23.8% 対府比 0.563)

(趣旨) 疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができるかどうかをみる。

(1) 次の①、②について、例を参考にしながら、必要があれば()内の語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、それぞれ会話が成り立つように英文を完成させなさい。

(例) <友達同士の会話>

A : I called you at eight last night.

B : Oh, sorry. I (do) my homework then.

[答え] was doing

② <友達同士の会話>

A : Oh, you have a new watch!

B : Yes, I got it yesterday.

A : (buy) the watch?

B : At a department store near the station

【本市生徒の解答状況】

問題番号	問題の概要	解答類型										
		1	2	3	4	5	6	7	8	99	無解答	
9 (1) ②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	12.8	0.6	0.4	23.8	10.0	29.3				2.6	20.4
		23.1	0.7	1.3	27.1	9.0	24.9				1.7	12.2
		20.2	0.7	1.3	30.1	10.3	25.0				1.6	10.9
1	◎	疑問詞 where を用いて一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書いているもの										
2	○	疑問詞 where を用いて一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を書いているが、大文字・小文字の書き分け等に誤りがあるもの										
3		疑問詞 where を用いて一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を書いているが、誤りがあるもの										
4		疑問詞 where を用いているが、一般動詞の2人称単数過去形以外の疑問文を書いているもの										
5		類型4までとは異なる疑問文を書いているもの										
6		疑問文を書いていないもの										
99		上記以外の解答										
0		無解答										

■解答類型について

- 【解答類型1】は、会話の流れから時制を判断し、疑問詞 where を用いて一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができている。
- 【解答類型2】は、大文字・小文字の書き分け等に誤りがあるなど、表現に不正確な部分はあるが、会話の流れから時制を判断し、疑問詞 where を用いて一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を書くことはできている。
- 【解答類型3】は、会話の流れから時制を判断し、疑問詞 where を用いて一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を書いているが、基本的な語や文法事項等を理解して文を書くことに

課題があると考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- ・ Where did you bought (動詞の活用形に誤りがある)
- ・ Where you did buy (語順に誤りがある)

○ 【解答類型4】は、会話の流れから疑問詞 where を用いて一般動詞の疑問文を書くことは理解しているが、時制を正しく判断することができていないか、基本的な語や文法事項等を理解して文を書くことに課題があると考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- ・ Where do you buy (現在形になっている)
- ・ Where you buy (did が欠落している)

○ 【解答類型5】は、会話の流れから疑問文を書くことは理解しているが、疑問詞 where を用いて一般動詞の疑問文を書くことを理解していない、基本的な語や文法事項等を理解して文を書くことに課題がある、または問題の指示文を正しく理解できていないと考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- ・ Do you buy (疑問詞 where を用いていない)
- ・ Are you buy (be 動詞が混在しており、時制にも誤りがある)
- ・ Did you (指定語を用いていない)

○ 【解答類型6】は、会話の流れから疑問文を書くことを理解しておらず、基本的な語や文法事項等を理解して文を書くこともできていないと考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- ・ You buy (肯定文の形になっている)